

カンサス州：小麦作柄と気象状況

2004年6月15日

2004年6月13日現在：

6月13日に終わる1週間の気象は、州東部に於て降雨があったが西部では乾燥・高温気象であった。西部3地区の最高気温は99～102度F、1週間の降水量は0.00～0.04インチであった。中央部3地区の最高気温は94～100度、1週間の降水量は0.00～0.96インチ、東部3地区の最高気温は86～96度F、1週間の降水量は0.81～2.78インチであった。州平均1週間の農作業稼働日数は5.4日（前週：6.0日）であった。西部地方の土壌水分が減少した。

冬小麦は昨年並びに平年より早い登塾を示した。全体の64%が完熟し（昨年同期：20%、5年平均：32%）、全体の15%が収穫された。昨年はこの時期に収穫が開始された。作柄は前週より多少改善したが、例年より成熟が早過ぎ単位収量の減少が懸念される。

6月1日付けUSDAの生産量予想は別表の通り。

単位収量は5月1日USDA予想より2ブッシェル減少し、39.0ブッシェル/エーカーと成った。

土壌水分状況：6月13日現在

Topsoil

	NW	WC	SW	NC	C	SC	NE	EC	SE	State	Week	Year
Very Short (%)	21	18	59	23	22	17	0	0	0	17	14	0
Short (%)	50	65	38	50	51	47	6	11	1	35	37	9
Adequate (%)	29	17	3	27	27	28	72	75	66	39	48	85
Surplus (%)	0	0	0	0	0	8	22	14	33	9	1	6

Subsoil

	NW	WC	SW	NC	C	SC	NE	EC	SE	State	Week	Year
Very Short (%)	73	60	76	26	26	11	3	0	0	29	24	7
Short (%)	26	40	23	60	51	56	38	7	3	35	36	26
Adequate (%)	1	0	1	14	23	33	58	92	88	35	38	66
Surplus (%)	0	0	0	0	0	0	1	1	9	1	2	1

Week means Last week, Year means Last year.

冬小麦の進捗状況：6月13日現在

	NW	WC	SW	NC	C	SC	NE	EC	SE	State	Year	Ave.
Turning color (%)	94	98	100	100	99	100	99	97	100	99	89	90
Rope (%)	19	71	72	47	87	89	44	28	74	64	16	32
Harvested (%)	2	12	29	5	22	28	0	0	3	15	1	6

Year means Last Year, and Ave. means 5 Year Average.

小麦作柄状況：2004年6月13日現在

	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This year (%)	24	20	28	25	3
Last week (%)	25	23	26	24	2

Source : Kansas Agricultural Statistics Service

2004年6月1日付けUSDA発表冬小麦生産量予想：

2004年3月USDA発表冬小麦作付面積：

	Area Planted (1,000 acres)			
	2002	2003	2004	2004/2003
Winter wheat	9,700	10,400	9,900	95%

2004年産作付品種の人気順位は、昨年同様トップはJagger (40.9%、2003年：35.9%)であった。第2位はカンサス大学にて育成された品種2137で作付面積は全体の8.6%(昨年:21.9%)、続きTam 110(4.2%)、Trego(3.5% Hard White)、そして第5位は新品種のJagalene (3.0%)であった。Hard WhiteのTregoは2003年の倍近い増加である。作付地区はNW (8.1%)、WC (11.1%)に集中し、新品種Jagalene (HRW)はSC及びSEに集中している。

冬小麦単位収量及び生産量 (2004年1月USDA発表)

Crop	Yield (bushels/acre)			Production (1,000 bushels)		
	2001	2002	2003	2001	2002	2003
Wheat						
Winter	40.0	33.0	48.0	328,000	267,300	480,000

当該作柄と気象報告に関しましてご質問は下記までにお問い合わせ致します。

小川正晃：e-mail ogawa.max@omicnet.com